

嘉麻市立熊ヶ畑小学校：「小規模特認校」PR 動画**1 目的**

熊ヶ畑小学校の小規模特認校としての魅力を地域住民や保護者に広く発信し、学校の教育方針や日常の子どもたちの教育活動の様子をわかりやすく伝える。子どもたちが生き生きと学び、友達とともに成長する様子を映像で紹介することで、学校に対する理解と信頼を深めるとともに、就学を控えた保護者の方々に「この学校で学ばせたい」と思えるような情報発信を行う。

2 背景

嘉麻市の児童数の減少に伴い、学校の存続が危ぶまれている現状において、熊ヶ畑小学校の良さを広く広報する必要がある。その際には、学校の特色や魅力を文字による情報だけでなく、「映像」による情報がより効果があると考えられる。嘉麻市のみならず他の地域にも広く熊ヶ畑小学校の良さを広報することは、熊ヶ畑小学校に通う児童の自尊感情の高揚にもつながり、学校と地域の結びつきの強化につながる。

3 動画の内容（構成順）

○ オープニング

- ・朝の登校風景（子どもたちの元気な挨拶、子どもたちを迎える校長先生とカマシちゃん）
- ・学校全景
- ・小規模特認校の簡単な説明

○ メイン【特色の紹介】

〔特色①：児童一人ひとりへのきめ細やかな教育〕

- ・授業風景：複式学級での授業（国語科）を撮影
- ・休み時間や給食：様々な学年が交流する様子

→熊ヶ畑小学校ならではの風景を映す。

- ・インタビュー①（在校生へのインタビュー）

児童A：学校の好きなところについて

児童B：学校の楽しいところについて

- ・インタビュー②（特認校制度を使った卒業中学生）

生徒A：熊ヶ畑小学校での思い出について

生徒B：熊ヶ畑小学校での学びと今の学校で活かされていることについて

〔特色②：地域と一体となった‘本物’の体験活動〕

- ・学校ならではの行事の紹介（ケーブルステーション福岡の保有映像から使用）

※茶摘み、田植え、運動会の映像を使用する

- ・嘉麻市外より移住し、自分の子どもを登校させている保護者や地域の大人（熊ヶ畑小学校卒業生）へのインタビュー

保護者：熊ヶ畑に移住し、子どもを熊ヶ畑小学校に通わせてよかったことについて

地域の方：熊ヶ畑小学校の思い出とその魅力について

○ エンディング

- ・校長によるナレーション

※校長、児童、かまししちゃんが校舎前に集まって映る（楽しい雰囲気が伝わるように）

4 方法

（1）本取組の主体

嘉麻市教育委員会（学校教育課）

（2）編成の協議機関

熊ヶ畑小学校学校運営協議会

（3）編集業者

学校保存の映像や現在の教育活動の画像素材を外部業者「ケーブルステーション福岡」に編集依頼し、学校運営協議会にて協議する。

（4）その他

- ・動画の長さ：3～4分
- ・映像の中心：子どもの笑顔・活動 → 「この学校なら安心して通わせたい」と思ってもらえるような編集内容とする。
- ・ナレーションやテロップ → 「夢中になって学ぶ子どもたち」「地域とともに育つ学校」「通わせたい学校がここにある」

5 配信活用

- ・学校及び嘉麻市のホームページ
- ・熊ヶ畑小説明会での上映
- ・地域行事や熊ヶ畑小保護者会で紹介（上映）
- ・近隣の保育所や幼稚園で紹介依頼（DVDを渡し、上映依頼等）
- ・SNS等で配信（嘉麻市公式YouTube等）※今後検討

6 計画

- ・撮影（登校風景） 10月15日(水)
- ”（授業風景以外の風景映像及び特認校制度を使った卒業生（現中学生）以外へのインタビュー） 10月22日(水)

”（特認校制度を使った卒業生（現中学生）へのインタビュー）

10月29日(水)

”（授業風景）

11月5日(水)

・ケーブルステーション福岡による編集

～11月中旬

・関係者による映像の事前確認(プレ上映会)

11月20日(予定)

・動画納品予定

11月28日

・公開

12月以降